



# 日本文化財科学会第39回大会 セカンドサーキュラー

2022年8月10日発行

日本文化財科学会

会長 泉 拓良

日本文化財科学会第39回大会実行委員会

委員長 岡部嘉幸 (千葉大学文学部長)

## 1. 開催要項

本大会は、コロナ禍以前の対面実施でのプログラムを提供することを見据え準備を進めてまいりましたが、第7波による感染急拡大により、口頭発表を原則対面で実施するとともに、一部オンライン発表に対応いたします。また、ワーキンググループ会議、企業セミナー、機器・商品紹介は千葉大学の会場において、ポスター発表はオンラインで開催いたします。

大会実行委員会ではコロナ感染対策等に万全を期し、多くの方々にご来場いただき活発な議論が展開される場を提供できるよう努めておりますが、今後のコロナ感染状況によりましては、開催方式を変更せざるを得ない状況が生じますことを、予めお断りさせていただきます。変更になりましたら、直ちにHP等でお知らせいたします。

なお、本大会で参加者はPDFで発表要旨をダウンロードすることが可能となりますが、希望者にはHPでの参加登録時に冊子体をお申込（有料）いただければ、大会当日、会場でお渡しします。

## 2. 発表形式

### [口頭発表]

基本的には会場での発表を原則とし、発表者の来場が難しい場合、下記の発表形式に対応いたします。発表者の皆様は、当日来場できない場合の代替の発表形式を、8月26日（金）までに大会事務局（jssscp2022@kuba.jp）にご連絡をお願いいたします。① ② ③の優先順位でお考えください。発表時間は15分+質疑応答3分です。

#### ① 会場での代理発表

※代理発表者の氏名・所属・連絡先（電話番号・メールアドレス）をご連絡ください。

#### ② オンライン発表

※万が一に備え、9月8日（木）までに音声つきパワーポイントをご提出ください。また、事前に最新版のZoomのデスクトップアプリ（ブラウザからの発表は非推奨）をインストールし、ご準備をお願いいたします。

#### ③ ビデオ発表

※9月2日（金）までに発表動画のご提出をお願いいたします。

### [ポスター発表]

昨年同様、オンラインでのポスター掲示、チャットによる質疑応答の形式で行います。

ポスター発表は、9月3日（土）から大会当日（9月11日（日））まで公開いたします。

発表者には参加登録後、ポスターのアップロードに関する情報を9月1日（木）までにお知らせいたします。

参加者には、参加登録後、9月1日（木）までにポスターの閲覧方法をお知らせいたします。

大会当日にはポスターセッションのコアタイム(9月11日(日)12:30～14:30 詳細はプログラム参照)を設け、会場ではWi-Fiを完備した部屋をご用意いたします。

詳細は大会ホームページでお知らせいたします。

### 3. 参加登録

大会ホームページ(<http://www.kuba.co.jp/jssscp2022>)上にある大会参加申し込みフォームから参加登録・参加費決済を行ってください。

**事前登録期限は8月29日(月)までです。**

(8月29日(月)以降、事前登録をしていただくことはできません。)

☆登録後に送られる自動返信メールの内容に従い、参加費のお支払いをお願いいたします。

☆登録には受信可能なメールアドレスが必要です。

☆ログイン情報の交付が必要となるため、ゆとりを持った申し込みにご協力ください。

### 4. 参加登録費

参加者区分	事前登録(支払) 8月29日(月)まで	当日登録
正会員	4,000円	5,000円
学生会員	2,000円	3,000円
賛助会員・団体会員(所属の方)	参加費・要旨集無料	
非会員	6,000円	7,000円
非会員学生	3,000円	3,000円

☆ご入金後のご返金はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

☆学生資格で参加する方には、登録後に確認させていただく場合があります。

☆すべての参加登録者が電子版要旨集(PDF)をダウンロードできます。

☆冊子体要旨集(印刷物)の代金は3,000円(税込)となります。

☆冊子体要旨集をご希望の方は、参加申込フォームにて「冊子体要旨集希望」を選択のうえ、8月29日(月)までに事前登録費と合わせて冊子体要旨集代金をお支払いください。それ以降はお申込みいただけません。

### 5. 大会

日時:2022年9月10日(土)・11日(日)

会場:千葉大学西千葉キャンパス 法政経学部棟(L2)

(千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33)

### 6. 大会日程

大会HPに掲載のプログラムをご参照ください。

### 7. ワーキンググループ会議

口頭発表、ポスター発表の枠組みに加えて、テーマ別に会員が自由に討議できるイベントです。本大会では大会1日目の9月10日(土)に行います。

お申し込みいただいたグループを下記のとおりご紹介いたします。

### 第1会場 16：30～17：30

#### 東アジア文化遺産保存学会

企画者：今津節生、高妻洋成、西浦忠輝

内 容：東アジア文化遺産保存国際シンポジウムin札幌（2023年8月10日～13日）に関する情報発信。なお、例年通りに石像文化財のWGと共同開催する。

### 第1会場 17：30～18：30

#### 石造文化財の保存修復ワーキンググループ

企画者：脇谷草一郎、石崎武志、岩崎好規、西浦忠輝、小椋大輔、星野玲子

内 容：本WGでは、石造文化財の劣化メカニズム、国内外での保存修復に関しての取り組み事例、保存修復手法、それぞれの現場での課題などについて情報共有をおこない、様々な分野の専門家同士の自由な意見交換により問題の解決へと進めていきたいと考えています。また、本会議は、ICOMOSの石造文化財の保存に関する科学委員会（ISCS）の会議も兼ねております。今後の活動計画についても議論を行う予定です。様々な分野の専門家および学生の方々の参加を期待します。なお、本WGの後には、東アジア文化遺産保存学会日本支部の会議を開催する予定です。

### 第2会場 16：30～17：30

#### 人新世に至る、モノを通した自然と人間の相互作用に関する研究

企画者：坂本稔、齋藤努、米田穰

内 容：人間文化研究機構では、同位体分析を駆使し、人・モノ・自然の関わりを時間軸・空間軸に沿って横断的に研究する、新たなプロジェクトを開始しました。WGでは概要を説明し、共同研究の募集について紹介します。

### 第2会場 17：30～18：30

#### 「土壌やイネ種子からどれだけの稲作情報が引き出せるのか？」ワーキンググループ

企画者：宇田津徹朗、上條信彦、田中克典

内 容：「日本における稲作の広がりの変遷の解明」に必須な稲作情報（イネの種類や多様性、時代）を引き出す最新の分析法と成果（科研課題での取組）を紹介し、稲作史研究における当該手法の可能性と課題を議論・共有する。

### 第3会場 16：30～17：30

#### 科学調査の倫理観ワーキンググループ

企画者：大西智洋、杳名貴彦、鳥越俊行、比佐陽一郎、松井敏也

内 容：文化財の破壊、非破壊調査は判断基準が明確でない部分もある。出土鉄製品の調査では大きな問題となったことから、様々な立場の研究者が議論し適切な文化財調査の方法について分野や世代間の認識のすり合わせを図る。

### 第3会場 17：30～18：30

#### 彩色材料分析研究会

企画者：早川泰弘、谷口陽子、北野信彦、青木智史、降幡順子

内 容：近年、調査事例が増えつつある「絵画資料等の面的な分析」をテーマに、IRやXRF、ハイ

パースペクトルカメラ等を用いた調査事例紹介、点分析との相違や問題点などの情報の共有を進めていきたいと考えています。

#### 第4会場 16：30～17：30

##### 第六回土器科学分析ワーキンググループ

企画者：宮田佳樹、西田泰民、小林謙一、村本周三、福井淳一、宮内信雄、堀内晶子、吉田邦夫

内容：第6回目の「土器科学分析研究会ワーキンググループ」を開催します。土器残存有機物を科学分析することで、どんなことが分かるのか？ 土器脂質、安定同位体分析、14C年代測定(IntCal20)、さらに、圧痕、X線、CTなどを用いた科学分析手法を解説し、その分析結果を議論することで、研究手法の共有化を図るとともに、課題や結果の解釈に関する問題点を明らかにしたいと思います。

#### 8. 企業セミナー、機器・商品紹介

企業主体で機器の紹介、デモやプレゼンを実施していただくセミナーです。企業セミナーは、10日(土)と11日(日)の昼休みに実施予定です。詳細は、大会HPにてご案内いたします。

##### [企業セミナー]

大塚オーミ陶業株式会社、株式会社三ツワフロンテック

##### [機器・商品紹介]

KYOTO's 3D STUDIO 株式会社、Kei. P.S. Create 株式会社、光明理化学工業株式会社、株式会社パレオ・ラボ、ピーエス工業株式会社、富士シリシア化学株式会社、丸紅情報システムズ株式会社、株式会社三ツワフロンテック

---

#### 【問い合わせ先】

日本文化財科学会第39回大会実行委員会事務局

担当者：鯉登、四宮、松田

E-mail：jssscp2022@kuba.jp

Tel：03-3238-1689

開催当日は、携帯電話090-5777-8763までご連絡ください。

日本文化財科学会第39回大会実行委員会

委員長：岡部嘉幸(千葉大学文学部長)

事務局長：阿部昭典(千葉大学文学部)

実行委員：青木智史(奈良教育大学)、秋山純子(東京文化財研究所)、天野真志(国立歴史民俗博物館)、片岡太郎(弘前大学)、菅頭明日香(青山学院大学)、建石徹(東京文化財研究所)、富岡直人(岡山理科大学)、畑山智史(船橋市教育委員会)、松井敏也(筑波大学)、百原新(千葉大学)、山田俊輔(千葉大学) (50音順)